

今治平野と芸予諸島の遺跡からみえてきた

人々の交流・航路・船

～縄文時代から古墳時代～

2024年

5月25日土 > 7月15日 月・祝

愛媛県生涯学習センター内
愛媛人物博物館3階
企画展示室

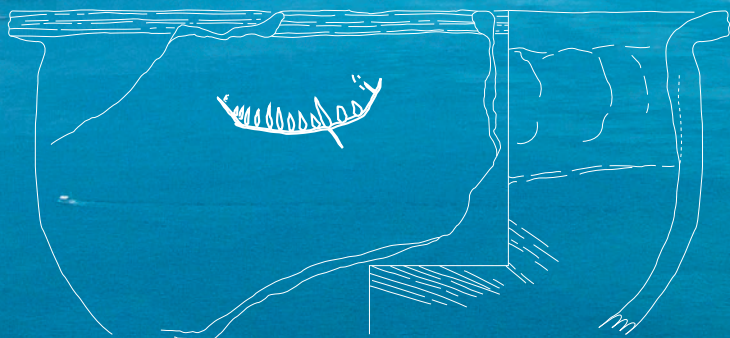
開館時間：9時～17時30分
(入館は17時まで)

休館日：月曜日
(7月15日は開館)

糸山

小島

馬島



新谷森 / 前遺跡の船の絵画土器
(愛媛県今治市)



御領遺跡の船の絵画土器
(広島県福山市)



写真提供：広島県教育委員会文化課

歴史・考古学講座

学び舎
えひめ

会場：愛媛県生涯学習センター 4F 大研修室
(受講無料)

第1回 6月2日 13時30分～15時30分

「弥生人、芸子の海を渡るー海から見た瀬戸内の弥生・古墳文化ー」
柴田昌児 (愛媛大学埋蔵文化財調査室室長)

第2回 6月16日 13時30分～15時30分

「伊予から来た弥生の船」

伊藤 実 (元広島県教育事業団埋蔵文化財調査室長)

第3回 6月30日 13時30分～15時30分

「原始・古代の人びとの航海
ー誰が何をどのように伝え広めたのかー」
谷若倫郎 (元愛媛県教育委員会文化財専門監)

背景写真：来島海峡と芸予諸島 (今治市)
撮影・写真提供：柴田昌児氏

展示解説会 ※申し込み不要

6月16日 15時30分～16時30分

第2回歴史・考古学講座終了後、企画展示室
で(公財)愛媛県埋蔵文化財センターと今治市
教育委員会職員による展示解説を行います。

バスでお越しの方

JRバス 伊予鉄バス今

JR松山駅 松山市駅

約40分

下原町バス停

徒歩約15分

愛媛県生涯学習センター

お車でお越しの方
隣接駐車場(350台)を
ご利用下さい。

定員：120名(申し込み先着順)

応募期間：5月15日(水)から随時募集

応募方法：電話(089-963-2111)又は

お問い合わせフォームから

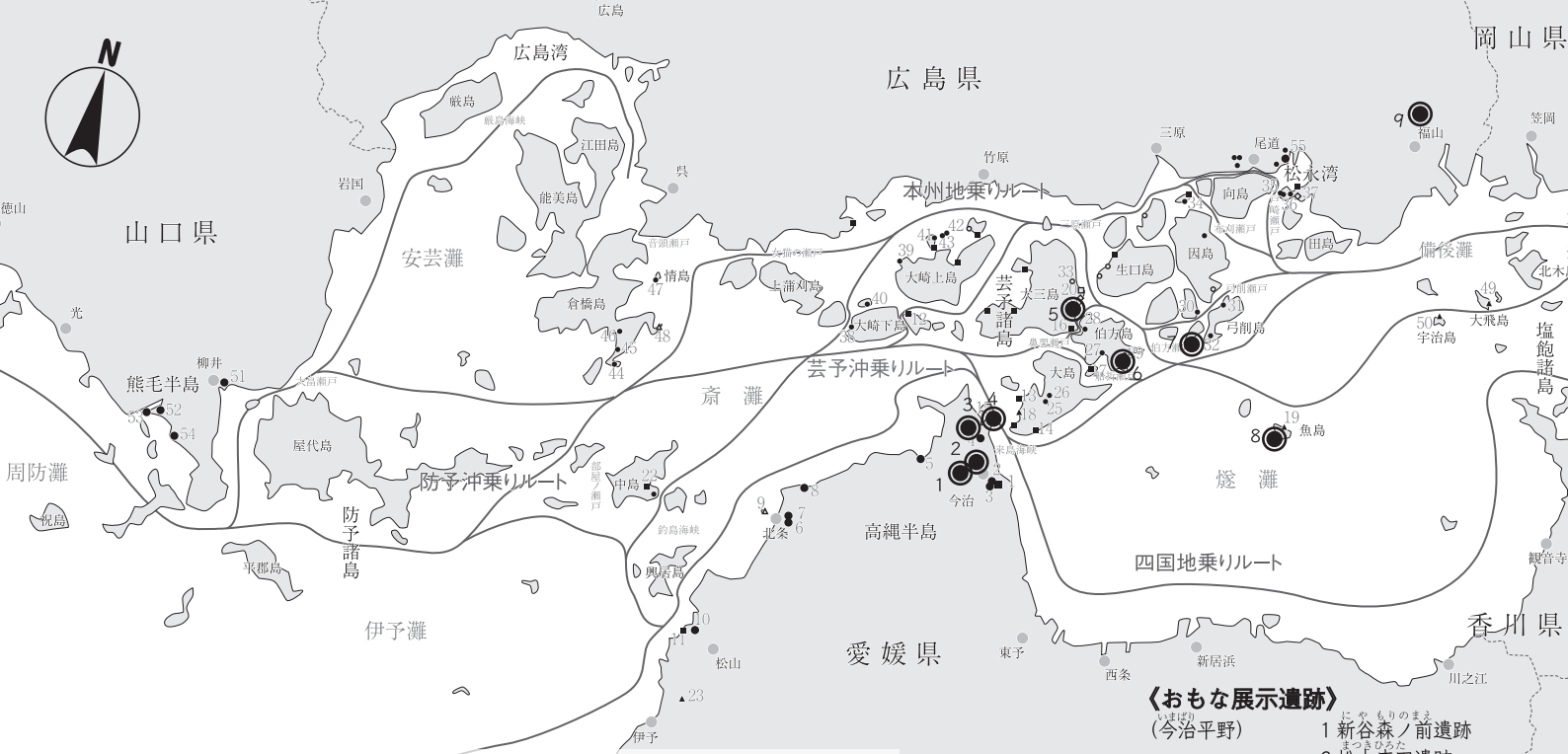
(<https://www.i-manabi.jp/contact/index.php>)



(公財) 愛媛県埋蔵文化財センター
松山市衣山4丁目68-1
TEL: 089-911-0502
URL: <http://ehime-maibun.or.jp/>

愛媛県生涯学習センター
松山市上野町甲650番地
TEL: 089-963-2111
URL: <https://www.i-manabi.jp/>

後援：愛媛県教育委員会・今治市・今治市教育委員会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ
愛媛CATV・FM愛媛



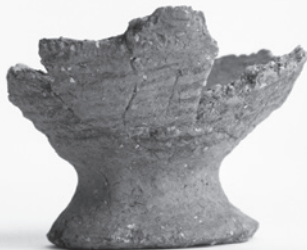
今治平野と芸予諸島の遺跡からみえてきた 人々の交流・航路・船 ~縄文時代から古墳時代~

(公財)愛媛県埋蔵文化財センターと今治市教育委員会では、これまで本四架橋や今治道路関連調査などで島嶼部の遺跡や古墳、今治市内の遺跡を数多く調査してきました。

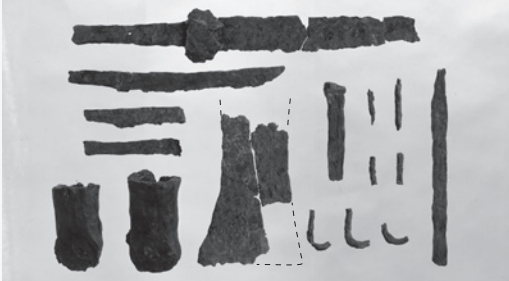
愛媛県東部に位置する芸予諸島および高縄半島沿岸地域は、太古より瀬戸内海航路が発達し物流の大動脈として重要な位置を占めていました。高縄半島の北東側に開けた今治平野には、西部瀬戸内や中部瀬戸内のほか芸予諸島、備後地域からも人々の行き来を示す遺物が入ってきています。また、島嶼部では塩の生産が行われ、中継地として海上交通に関わる遺跡もみられます。

今回の企画展では、今治平野と芸予諸島に海を介して他地域からもたらされた文化や地域間の関係を示す遺物を取り上げ、縄文時代から古墳時代の人々の交流関係と原始・古代の瀬戸内海航路や船について考えてみます。

馬島亀ヶ浦遺跡 サヌカイト石材集積状況（縄文時代後期～晩期）



製塩に使用した土器（多々羅遺跡：古墳時代前期）



古墳に副葬された鉄器（多々羅古墳：古墳時代中期）（下段中央：鉄鉞）



多々羅遺跡の立地



近畿地方・吉備・讃岐・阿波の土器（松木広田遺跡・上徳上胡遺跡：古墳時代前期）

写真提供：今治市教育委員会

《おもな展示遺跡》

- 1 新谷森ノ前遺跡 (今治平野)
- 2 松木広田遺跡
- 3 系大谷遺跡
- 4 馬島亀ヶ浦遺跡 (芸予諸島)
- 5 多々羅遺跡・多々羅古墳
- 6 岩ヶ峯古墳
- 7 宮ノ浦遺跡
- 8 大木遺跡 (広島県福山市・神辺平野)
- 9 御領遺跡

● 前方後円墳
■ 前方後方墳
● 横穴式石室墳
□ 横穴式石室墳?
■ 箱式石室墳
○ 粘土椀ほか
▲ 祭祀遺跡
△ 祭祀遺跡?
◇ 製塩遺跡

古墳時代の瀬戸内海航路想定図
図提供：谷若倫郎氏

0 10 20 30Km



船を描いた複合口縁壺（御領遺跡：弥生時代後期）
写真提供：広島県教育委員会

弥生時代の大型の船（準構造船）が描かれている。複合口縁壺は神辺平野では作られない壺の形で、今治地域から持ち込まれた可能性がある。

